

1	(1) 320	(2) 125	(3) 446	(4) 690
	(5) 305	(6) 508	(7) 551	(8) 470 (g)
	(9) 40 (L)	(10) 6 (日)	(11) 17 (人)	(12) 7 (こ)
	(13) 5 (分)	(14) 36 (m)	(15) 84 (cm)	

2	(1) 52 cm	(2) 16 cm
---	-----------	-----------

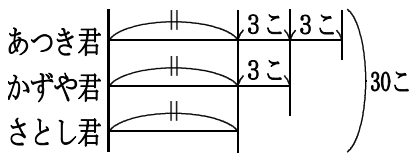
3	(1) 150 円	(2) 50 円	(3) 44 (こ)
---	-----------	----------	------------

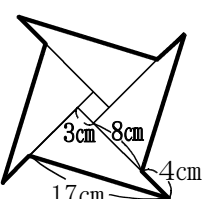
4	(1) 9	(2) 5
---	-------	-------

5	(1) 3 通り	(2) 21 通り	(3) 39 通り
---	----------	-----------	-----------

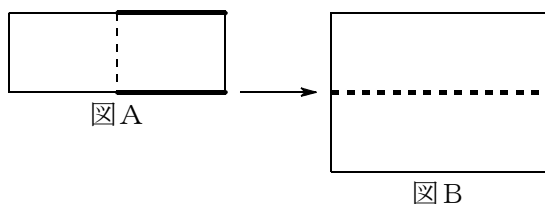
(配点) ; 各 4 点 × 25

- 1 (5)  $481 - 176 = 305$   
 (6)  $551 - 43 = 508$   
 (7)  $373 + 178 = 551$   
 (8)  $135\text{g} + 1\text{kg} - 665\text{g}$   
 $= 135\text{g} + 1000\text{g} - 665\text{g} = 470\text{g}$   
 (9)  $103\text{dL} + 20\text{L} + 97\text{dL}$   
 $= 200\text{dL} + 20\text{L} = 20\text{L} + 20\text{L} = 40\text{L}$   
 (10)  $10\text{週間} - 54\text{日} - 240\text{時間}$   
 $= 70\text{日} - 54\text{日} - 10\text{日} = 6\text{日}$   
 (11)  $10 + 8 - 1 = 17$  (人)

- (12) 右の線分図を利用する。  
 $3 \times 3 = 9$  (こ)  
 $30 - 9 = 21$  (こ)  
 $21 = 7 \times 3$   
 よって、さとし君は 7 こ。
- 

- (13) 午後5時38分 - 午後3時10分 = 2時間28分  
 午後8時13分 - 午後5時40分 = 2時間33分  
 $2\text{時間}33\text{分} - 2\text{時間}28\text{分} = 5\text{分}$   
 (14)  $7 - 1 = 6$  (こ) …間の数  
 $6 \times 6 = 36$  (m)  
 (15) 右の図のように  $17\text{cm}$  と,  
 $15 - 3 - 8 = 4$  (cm) が  
 4つずつ。  
 $(17 + 4) \times 4 = 84$  (cm)
- 

- 2 (1) 図3は、図1をたてもよこも半分に折ったもの。  
 よって、図1のまわりの長さは図3のちょうど2倍となる。 →  $26 \times 2 = 52$  (cm)  
 (2) 図2と図3の長さの差を考える。  
 $42 - 26 = 16$  (cm) …下の図Aの太線部分  
 これは、図Bの折り目の長さに等しい。  
 よって、16 cm。



- 3 (1)  $55 \times 30 = 1650$  (円) …A店  
 $60 \times 30 = 1800$  (円) …B店  
 $1800 - 1650 = 150$  (円)  
 (2)  $55 \times 50 = 2750$  (円) …A店  
 $50 - 30 = 20$  (こ)  
 $60 \times 30 + 45 \times 20 = 2700$  (円) …B店  
 $2750 - 2700 = 50$  (円)  
 (3) 30こをこえると、 $55 - 45 = 10$  (円) 差  
 $150 = 10 \times 15$  より、(1)からあと15こ買うと、A店での代金=B店での代金になる。  
 よって、 $30 + 15 - 1 = 44$  (こ)

- 4 (1)  $キ \times キ = ク \dots 2 \times 2 = 4$  か、 $3 \times 3 = 9$   
 しかし、 $エ \times オ = カ$  の式から、エかオのどちらかには2が入る。  
 よって、 $キ = 3$ 、 $ク = 9$  とわかる。  
 (2) (1)から、(エ, オ) = (2, 4)、カ = 8がわかる。  
 残るア, イ, ウ, ケは1, 5, 6, 7。  
 $ア + イ = ウ$  より、 $1 + 5 = 6$  か、 $5 + 1 = 6$  か、  
 $1 + 6 = 7$  か、 $6 + 1 = 7$ 。  
 よって、残るケは7か5。  
 このうち、 $ア + エ - オ = ケ$  になるのは、  
 $5 + 4 - 2 = 7$  のみ。よって、アは 5。  
 ちなみに、ア~ケを表に
- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ケ |
| 5 | 1 | 6 | 4 | 2 | 8 | 3 | 9 | 7 |
- すると右のようになる。

- 5 (1) あつき君がグーを出し、他の3人がチョキを出す。  
 あつき君がチョキを出し、他の3人がパーを出す。  
 あつき君がパーを出し、他の3人がグーを出す。  
 以上の 3通り。  
 (2) 問題文にあるが、あつき君1人がグーを出して勝つ場合は7通りあり、具体的には、勝つ人はグーを出し、負ける人はチョキを出す場合、あつき君だけが勝つ場合が1通り。  
 あつき君とあと1人が勝つ場合が3通り。  
 あつき君とあと2人が勝つ場合が3通り。  
 以上の、 $1 + 3 + 3 = 7$  (通り) がある。  
 これは、勝つ人がチョキを出す場合、パーを出す場合も同じなので、 $7 \times 3 = 21$  (通り) がある。  
 (3) あつき君が勝つ場合が21通り。  
 当然、あつき君が負ける場合も21通りある。  
 $21 \times 2 = 42$  (通り) …じゃんけんに勝負がつく場合  
 よって、 $81 - 42 = 39$  (通り)